



医療保険制度改革に向けた議論の進め方

医療保険制度改革に向けた議論の進め方

- 「経済財政運営と改革の基本方針2025」（令和7年6月13日閣議決定）において、「現役世代が急速に減少し、高齢者数がピークを迎える2040年頃を見据えた中長期的な時間軸も視野に入れ、現役世代の負担を軽減しつつ、年齢に関わりなく、能力に応じて負担し、個性を活かして支え合う「全世代型社会保障」の構築が不可欠である」とされている。
- 上記記載を踏まえ、**中長期的にあるべき姿から逆算した必要な政策、理念及び全体像**を示していくことが国民の理解・納得感を得るためにも重要。
- そのため、医療保険部会においては、現時点における我が国の医療保険制度、人口と医療費の変化、物価等の経済情勢の変化、医療提供体制の変化について認識を共有し、**あるべき将来像とそれを実現するためにとるべき対応について意見交換を行い、論点を整理した上で、個別課題の議論を行うこと**としたい。
- その前提で、医療保険部会において、次のとおり医療保険制度改革に向けた議論を進めてはどうか。

医療保険制度改革に向けた議論のスケジュール案

令和7年9月

社会保障審議会医療保険部会で以下のとおり議論

以下の項目について認識の共有

- ・日本の医療や健康の状況
- ・日本の医療保険制度
- ・医療保険制度が直面する環境変化
- ・これまでの医療保険制度改革 等

上記の内容を踏まえ、具体的な課題について議論

とりまとめに向けた議論

とりまとめ

令和7年冬